

親子の問題を解決するための総合支援拠点を目指して
おやこ基地シブヤ



「おやこ基地」が目指すもの

すべての子どもたちに保育の光を



プロジェクトの意義



渋谷区
Shibuya City



Florence

1

待機児童が多く、また増加が著しい渋谷区で、待機児童問題の一日でも早い解決を目指す。

☞定員30名の認可保育所を開設。これは渋谷区の待機児童全体の10%に相当する。

2

併せて、その他の社会問題についても、先進的なアプローチで解決を進めていく。

☞病児保育室、小児科、障害児保育施設を併設。社会問題解決につながるサービスを提供。

施設のロケーション



施設のロケーション



施設のコンセプト

目指すのは…
すべての親子が笑顔になる施設

どういった形で実現していくのか
(=施設のコンセプト)

おやこの問題を解決するための総合支援拠点

おやこ基地

提供するベネフィット

親の視点

子供の視点

情報収集・相談

ワクワク感

支援・補給

遊べる場所

保護・治療

自分の場所

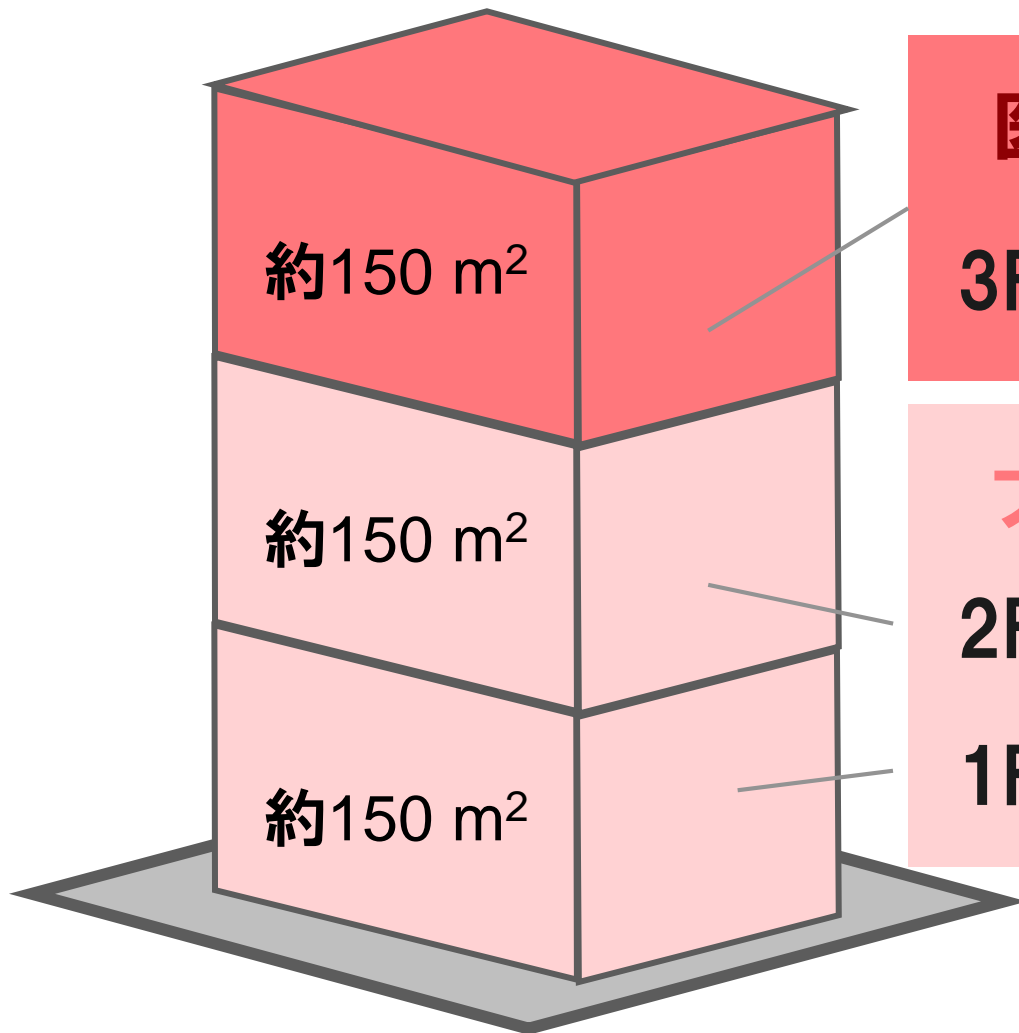
おやこ基地

頼りになる！

楽しい！

すべての親子が笑顔になる！

「おやこ基地シブヤ」の施設



医療法人ペルルが運営

3F 病児保育室(定員4人)
小児科

フローレンスが運営

2F 認可保育園(1-5歳)(定員30人)

1F 障害児保育園(重心児5人)

デザインコンセプトは「NEST(巣)」



※近隣住民の方々のご意見、ご要望に応じて、変更する可能性あり

1F 障害児保育園ヘレン



日本初の長時間保育

既存の療育施設をはじめとして、これまで障害のある子が長時間利用できる施設はほとんどありませんでした。

障害児保育園ヘレンは、「すべての子どもが保育を受け、保護者が働くことを選択できる社会」を目指し、9時から18時の長時間保育を実現します。

医療的ケアも対応可能

看護師、作業療法士、研修を受けた保育スタッフがチームを組み、子どもたちが安心して過ごせる体制を作ります。

これまで預かりが難しかった「医療的ケア」を必要とする子どもの保育にも対応することができます



「遊び」を出発点とした療育

子ども自身が「楽しそう!」と感じ、新しいことにチャレンジすることをヘレンは大切にします。

ヘレンで過ごす生活のすべてに作業療法士の視点を取り入れ、何気ない遊びの中にも発達の芽を育てていきます。

2F みんなの未来をつくる保育園

シチズンシップ保育

保育理念である、『「みんなの未来をつくる」ことに自ら参加し 貢献し そして楽しむ心を育む』を実現するため、オランダ発祥の「ピースフルスクールプログラム」を取り入れています。

毎日のサークルタイム(写真左下)を通じた対話や専門のレッスンから、子どもの「解決する力」を育みます。

そのほか、自身の感情を知り、他者を思いやる心を育むため「感情カード」(写真右下)を取り入れています。



3F 小児科＋病児保育室

1

日本初子育て中の女性医師が働ける環境を整備

労働条件の苛酷さから働くことのできていない、子育て中の女性医師の就労問題の解決策の1つとして、診療時間が9時半～15時半の日本一女医が働きやすいクリニックを運営します。

2

おやこの課題を解決するための取り組みを実施

15時半以降の時間を使って、孤育て問題や貧困問題、虐待問題の解決に繋がるための取り組みを行い、地域と連携しながら、おやこの問題を解決する拠点を目指します。

3

渋谷区初となる病児保育施設の開設

フローレンスが培ってきた訪問型病児保育のノウハウを活かし、質の高い病児保育サービスを提供します。